

多文化家族の保護者向け
入学手続きのご案内

学校に 行く前に





多文化家族の保護者向け
入学資料のご案内

学校に 行く前に

「多文化家庭の保護者向け入学資料のご案内-学校に行く前に」は、韓国で幼稚園や小中高の入学を控えている多文化家族の児童生徒の保護者にとって参考になる資料となっています。本資料は、入学の準備段階から、学校生活に適応するために学校が提供する様々な支援内容を含めています。韓国の学校生活に関する情報を提供することで、保護者が子どもの学校生活をサポートしやすくするために制作されました。各章における詳しい内容は、次の通りです。



I. **入学準備**では、入学準備の手続き及び外国国籍の児童生徒の入学関連提出書類などの内容について案内しています。



II. **学校入学の手続き**では、幼稚園から小学校、中学校、高校の学校別に入学対象・時期、手続きなどについて詳しく案内しています。



III. **学校教育の支援**では、多文化家族の児童生徒の学校教育の準備と韓国語教育、教科学習、進路教育、情緒支援などについて案内しています。



IV. **教育支援制度**では、教育費の支援に関する案内と学校及び韓国での生活に役立つ情報を案内しています。

本資料が、韓国で入学を控えた子どもを持つ多文化家族の保護者の、容易な入学準備に役に立てれば幸いです。

韓国の学校教育

韓国の学校教育



教育期間及び年齢

課程	課程名	教育期間	年齢	備考
幼児教育	幼稚園	3	3～5歳	
初等教育	小学校	6	6～11歳	義務教育、無償教育*
中等教育	中学校	3	12～14歳	義務教育、無償教育*
	高等学校	3	15～17歳	無償教育*
高等教育	大学校	4	18歳以上	

* 無償教育に関する支援：入学金、授業料、学校運営支援費、教科用図書購入費

※ 義務教育機関に子どもを通わせない場合、過料が科されることがあります。

※ ただし、私立小学校、私立中学校、自律型私立高、一部の私立特目高校、特性化学校(芸術・体育・国際学校など)の教育費は自己負担です。

韓国での学校教育

○ ほとんどの韓国の公教育では、3月の最初の平日に新学期が始まり、小中高等教育または学校によって詳細なイベントスケジュールは異なります。

1年間の主な教育イベント・活動

イベント名	内容	時期
入学式(始業式)	新学年・新学期が始まる日	3月の最初の平日
裁量による休業日	学校が自主的に休業日を指定し、休む日	学校指定
開校記念日	開校日を記念する日	学校指定
体験型現場学習	博物館、農場体験など、学校外で授業を受ける日	4月、10月
運動会(体育大会)	全校生または学年別体育大会の日	5月
公開授業の日	学校の授業を公開する日	4～5月
夏休み式	1学期を終え、夏休みを迎える日	7月末
夏の開学式	夏休みを終え、2学期を始める日	8月末
冬休み式	冬休みを迎える日	12月末～1月
終業式(卒業式)	当該の学年を終える日	1～2月

🕒 一日の日課：授業時間(小学校40分、中学校45分、高等学校50分)と休み時間(10分)

限目	時間	活動
1限目	09:10～09:50	教科の授業
2限目	10:00～10:40	教科の授業
3限目	10:50～11:30	教科の授業
4限目	11:40～12:20	教科の授業
昼休み	12:20～13:10	給食・自由時間
5限目	13:10～13:50	教科の授業
6限目	14:00～14:40	教科の授業
その後	14:00～16:30	学童保育、放課後授業(希望者に限る)

※ 小学校の例です。小中高等教育及び学校により、開始時間や日課の時間は異なる場合があります。

多文化家族の児童生徒向け韓国における学校教育

公正な教育の機会を保障するために公教育の享受を支援

- 児童生徒の在留資格・国籍・人種などに関係なく、小・中等学校に入学・転入・編入学が可能
- 親の滞在資格などが明るみに出ることを恐れ、子どもを学校に通わせないことがあるが、児童生徒の教育権を保障するため、登録していない長期在留者でも取り締まらないことになっている。

学校教育の準備を支援



チンゴムダリ(飛び石)課程

小・中学校への入学や編入学を予定している多文化家族の児童生徒を対象にした、学校生活早期適応支援プログラム

カスタマイズされた韓国語教育及び教科学習を支援



韓国語学級及び移動する韓国語教育

入国して間もない途中入国、または外国人の児童生徒を対象にした韓国語集中教育のための特別学級を運営



大学生メンタープログラム

大学生(メンター)が多文化家族の児童生徒の幼児・児童生徒(メンティー)向けに学校生活の適応や学習を支援



教科の補助教材を開発・普及

多文化家族の児童生徒の学習を支援するために、教科の主な概念や語彙を分かりやすく説明した教材

進路教育及び情緒の支援



バイリンガルの長所を開発するよう支援

多文化家族の児童生徒のバイリンガルの学習を奨励するため、電子書籍タイプのバイリンガルの教材を開発や、「全国バイリンガル・スピーチコンテスト」を開催



進路教育プログラム及びメンタリングを運営

移住してきた背景を持つ生徒の特性を考慮した学生進路教育プログラム及び「遠隔映像進路メンタリング (mentoring.career.go.kr)」を運営



学校生活及び情緒の支援

多言語バージョンの「情緒・行動特性検査紙」を提供、地域社会における多文化家族の児童生徒支援機関と連携



I. 入学準備

1. 入学準備の手続き 5
2. 外国国籍の児童生徒の入学関連提出書類 6



II. 学校入学の手続き

1. 幼稚園の入園 7
2. 小学校の入学 8
3. 中学校の入学 10
4. 高等学校の入学 12



III. 学校教育の支援

1. 学校教育準備の支援 13
2. カスタマイズされた韓国語教育及び教科学習の支援 13
3. 進路教育及び情緒の支援 14



IV. 教育支援制度

1. 教育費の支援 15
2. 学校及び生活の支援 17

[付録1] 学校(幼稚園)生活に関する用語 18

[付録2] 「韓国の教育制度と進学情報」保護者用映像資料 22

[付録3] 無料の韓国語学習支援サイト 23



I

入学準備

1. 入学準備の手続き



大韓民国国籍

大韓民国国籍を含む多重国籍の場合を含む

多文化家族の児童生徒でない児童生徒と同じ手続きに従う。



外国国籍

登録されていない移住児童・難民を含む

外国国籍の児童生徒のための学籍管理手続きに従う。



幼稚園

- 「はじめての学校へ(www.go-firstschool.go.kr)」のウェブサイトから申請・選定(10～11月が幼児募集期間)
- 入園を希望する幼稚園の長に入園を申請
- ※ 入園の定員内であれば入園可能

- 入園を希望する幼稚園の長に入園を申請
- ※ 入園の定員内であれば入園可能



小学校

- 行政機関から送付される就学通知書を受け取る。

- 居住地の属した学区*内の小学校の長に入学を申請
- *教育庁に問い合わせ確認可能



中学校

- 在学中の小学校から入学願書を提出、中学校が指定される。
- ※ 特性化中学校の場合、学校ホームページから個別に入学選考を確認する必要有り。

- 居住地を管轄する教育支援庁または中学校の長に入学を申請



高等学校

- 在学中の中学校から入学願書を提出、高等学校が指定される。
- ※ 「高校入学情報ポータル(www.hischool.go.kr)」ウェブサイトから個別に確認する必要有り。

- 入学を希望する高等学校の長に入学を申請



上記の手続きは韓国で初めて学校に入学する多文化家族の児童生徒を対象とし、就学・編入学の学校を選ぶ際には、まず居住地の学校群内の学校や教育(支援)庁、多文化教育支援センターなどに問い合わせ、相談する必要有り

入学に関する用語(参考)



入学：学校に入ること。(1年生として新しく入る。)

就学：初めて義務教育に該当する学校に適正な学年として入ること。

編入学：義務教育の対象でない者が学業を中断した者が、中断した学校に在学当時学年の1次上級の学年、もしくは別の学校に再入学すること。
義務教育の対象でない者が、学業中断前と同じ、または下位の小中学校の学年に再入学する場合にも、編入学として扱う。

2. 外国国籍の児童生徒の入学関連提出書類

01	就学または編入学 願書	<ul style="list-style-type: none"> 入学予定の学校または教育庁が提供する様式 	幼 小 中 高
02	出入国事実証明または 外国人登録事実証明	<ul style="list-style-type: none"> 賃貸借契約書、居住事実に関する隣友保証書など、居住事実を確認することができる書類でも可 本人が同意する場合、住民登録謄本・抄本、外国人登録事実証明などは、書類を提出しなくても、学校・教育支援庁が照会できる。 	幼 小 中 高
03	成績証明書	<ul style="list-style-type: none"> 修了または就学中の学年までの成績内容を証明する書類 	小 中 高
04	在学証明書、卒業証明書 (該当者)	<ul style="list-style-type: none"> 学校長の署名(捺印)があり、入・退学の年月日、在学学年を確認することができる書類 	小 中 高
05	学校生活記録簿 (該当者)	<ul style="list-style-type: none"> 韓国において学校に通った経験のある場合に提出 	小 中 高
06	予防接種証明書	<ul style="list-style-type: none"> 「児童生徒の感染症予防・危機対応マニュアル」の「海外からの転入生の予防接種管理」により、学校側が関連書類を要求することがある 	小 中 高
07	その他、市・道教育庁の ガイドラインに 則った書類	<ul style="list-style-type: none"> 必ず管轄の教育庁から書類を確認すること 	小 中 高
08	<ul style="list-style-type: none"> この他、教育の目的により、児童生徒の情報を確認するため、学校によってパスポートの写し、家族関係証明書、住民登録謄本(大韓民国国籍を取得した場合)などを要求することがある 		幼 小 中 高



- 教育部の「外国所在小中高の学歴認定学校一覧」に記載されている場合、アポスティーユによる確認または在外公館の領事認証手続きを省略し、学校長発行書類のみで確認することができる。
- それ以外の外国学校からの発行書類は、「アポスティーユ確認」(アポスティーユ条約国)または大韓民国在外公館の「領事認証」が必要。
 - ※ 申請者が当該国における正規の教育機関であることを疎明(所在国の管轄教育庁から学歴の認定学校一覧などを印刷して提出するなど)、または従前のように「アポスティーユ確認」または「領事認証」の書類を確認。
- 学歴証明書は、学校長の職印、署名または捺印が含まれていなければならない。
- 韓国語、英語以外の言語で書かれた学歴証明書は、公証を受けた翻訳文を添付しなければならない。
- 提出書類の偽変造が発覚した場合、当該学生の入学が取り消されることがある。



学歴証明が困難な場合、「多文化家族の児童生徒に関する学歴審議委員会」により、学力認定と学年決定に関する事項を審議する。



II

学校入学の手続き



1. 幼稚園の入園



タイプ

国立幼稚園

国が設立・経営する幼稚園

公立幼稚園

地方自治体が設立・経営する市・道立幼稚園

私立幼稚園

法人または個人が設立・経営する幼稚園



入園対象と時期

- ・満3～5歳の小学校就学前の幼児は、幼稚園に入園
- ・10～11月中、「はじめての学校へ」から入園を申込み、その他の期間中は年齢別定員の範囲内で随時入園可能



入園手続き

幼稚園の入園は申込の受付から登録まで、すべては幼稚園入園管理システム「はじめての学校へ」のウェブサイト(www.go-firstschool.go.kr)から行う。

優先募集*

願書の受付

抽選・発表

登録

一般募集

事前受付

本受付

抽選の結果発表

登録

待機者管理

追加募集

受付登録

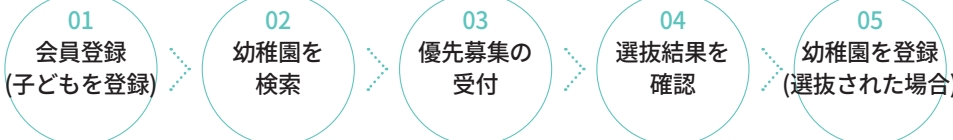
*優先募集

- 優先募集の対象者かどうかについては、幼稚園の募集要綱を確認する必要がある。
- 優先募集の対象者は、証明書を当該幼稚園に提出し、確認してもらう必要がある。

- ・「はじめての学校へ」による幼児募集期間以外は、入学願書を幼稚園に直接提出し、年齢別定員の範囲内で欠員がある場合のみ、入園できる。



「はじめての学校へ」の利用手続き



教育課程の編成及び運営

- ・日課の運営：教育課程(1日4～5時間)と放課後課程(教育課程以降)が運営され、幼稚園によって日課の時間は異なる場合がある。

日課
(例)

区分	時間	活動内容
教育課程	09:00~13:00	登園、自由遊び、おやつ、外遊び、昼食、活動
放課後課程	13:00~18:00	休憩・昼寝、午後のおやつ、特性化プログラム、特別活動、自由遊び、外遊び



2. 小学校の入学



タイプ

国立小学校

国が設立・経営する
小学校、教育大学校・
国立大学校師範大学の
附設小学校

公立小学校

地方自治体が設立・
経営する市・道立小学校

私立小学校

法人または個人が設立・
経営する小学校



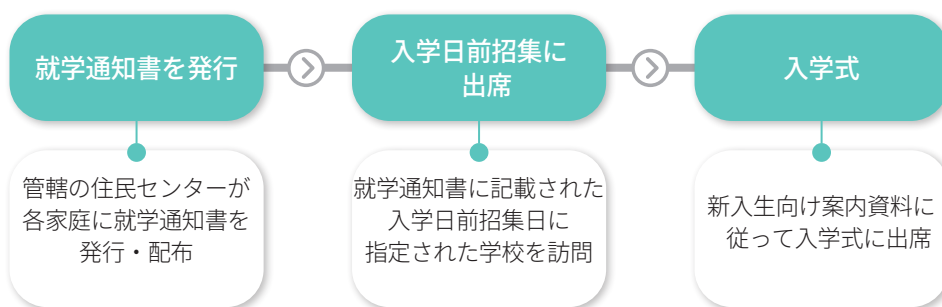
入学対象と
時期

- ・満6歳になる日が属する翌年3月1日から、児童は小学校に通わなければならない、小学校は義務教育であり、かつ無償教育である。お子様を小学校に通わせない場合、過料が科されることがあります。



入学手続き

韓国の小学校への入学手続きは、以下のとおりである。



- ・一般的に、居住地によって学校が決まるが、多文化家族の児童生徒の場合、多文化家族の児童生徒向け特別学級(韓国語学級)が設置された小学校に入学可能
- ・早期入学、または就学延期を希望する保護者は、毎年10月1日から12月31日まで、管轄の邑・面事務所、または洞住民自治センターの窓口から申請しなければならない。

※ 早期入学や就学延期の場合、保護者の選択で確定するため、申請する前に慎重に判断する必要がある。



多文化家族の児童生徒の小学校入学

- ・外国人の場合、韓国で生まれた子どもでも就学通知書が発行されないため、国内居住事実を証明できる書類を持参し、近くの小学校を訪ねて入学の相談を受ける必要がある。
- ・未登録の移住児童でも入学が可能であり、その場合、住宅賃貸借契約書、身元保証書(隣友保証書)など、居住事実を確認することができる書類、出生年度を確認することができる書類が必要。



学校生活のご案内



授業

- **授業時間の運営**：1日4時限または5時限/40分授業
- **編成・運営**：教科、クリエイティブな体験活動

教科 (群)

1~2年生 | 国語、数学、統合教科(正しい生活、賢い生活、楽しい生活)

3~4年生 | 国語、道徳、社会、数学、科学、体育、音楽、美術、英語

5~6年生 | 国語、道徳、社会、数学、科学、実科、体育、音楽、美術、英語

クリエイティブな 体験活動

集団生活において必要な基本的な生活習慣を形成し、個性と素質を発見するための教科以外の活動であり、別途教科書はない。



放課後学校

- 学校の計画によって一定期間継続して運営される正規の授業ではない学校の教育活動
- **対象**：参加を希望する当該学校の児童
- **場所**：学校及び地域社会における様々な施設
- **運営期間及び時間**：学期中の放課後(土曜、休み中も運営可能)
- **プログラム**：教科及び特技・適性の伸張、地域社会との連携、教育のプロボノ活動など
- **学習管理**：児童の学習過程や結果に関する情報を提供し、授業参観を実施

※ 学校の運営計画によりプログラム運営時間が決まる。学期初め、配られる案内状に各プログラムの受講料と運営時間、支援の有無などが記載されている。それを確認の上、希望によって申請(申請方法は学校によって異なる)体験授業に参加した後に決定することも可能。



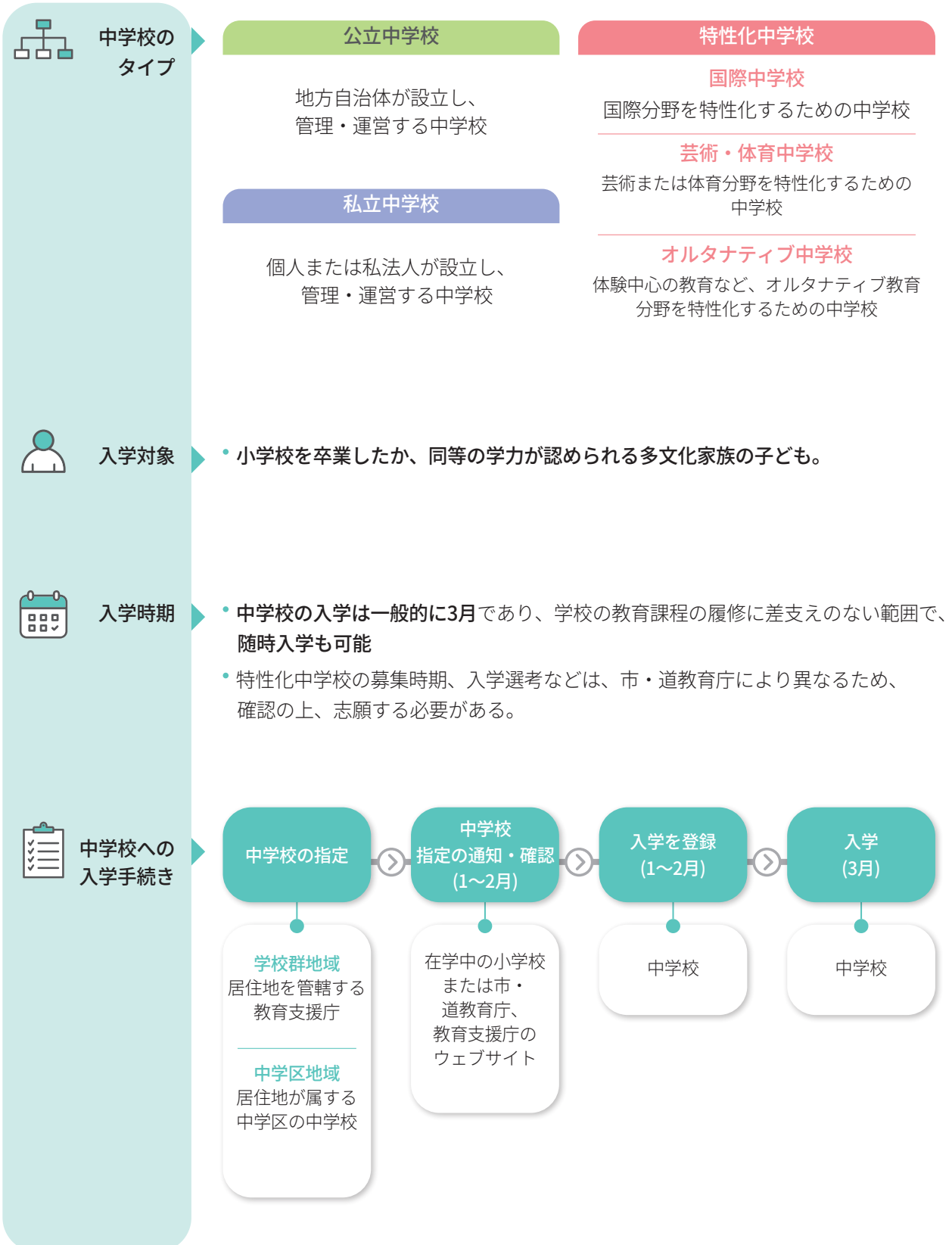
初等学童保育


- 小学校の児童を対象に、放課後、学校の教室で児童をケア。
- **利用対象**：共働き家庭、低所得世帯、ひとり親家庭など、ケアが必要な家庭の児童
- **運営機関**：学童保育を運営している小学校
- **支援内容**：個人活動(作文、読書など)、グループ活動(特技・適性プログラムなど)

※ 運営時間、申請方法は、学校の条件や需要により異なるので、ご利用案内は初等学童保育運営学校または政府24(www.gov.kr)からご確認ください。



3. 中学校の入学




 中学校での
学校生活

 中学校の
指定

- ☑ 中学校は、小学6年生の2学期(10月)に指定を希望する中学校を選択し、保護者が中学校指定願書を作成・提出
- ☑ 中学校は、地域・学校群の抽選により学校を指定するが、通学距離・交通が極めて困難な地域の場合、教育監が設定した地域内において入学する学校を指定する。
- ☑ 多文化家族の児童生徒の子どもの場合、多文化家族の児童生徒向け特別学級が設置された中学校に入学可能



授業

小学校は全日担任制であるが、中学校は[担任制+教科担任制]をもって学級を運営

- 授業時間の運営：6時限または7時限(45分授業)
- 成績の算出：筆記試験と遂行の評価を成績に反映
※「自由学期」には、中間・期末テストなど一斉に行われる筆記試験は実施せず、学生の学習と成長を支援する過程中心の評価を実施
- 教育課程：教科(群)+クリエイティブな体験活動

教科(群)

国語、社会(歴史を含む)/道徳、数学、科学/技術・家庭/情報、体育、芸術(音楽/美術)、英語、選択教科(漢文、環境、日常外国語、保健、進路と職業など)

 クリエーティブな
体験活動

自由活動、サークル活動、奉仕活動、進路活動



自由学期制

- 中学校において、1学期または2学期の間、知識・競争中心ではなく、生徒参加型授業を実施し、生徒の素質や適性を育むことができる多様な体験活動を中心に、教育課程を運営する制度
※ 自由学期の活動：進路探索活動、テーマ選択活動、サークル活動、芸術・体育活動



4. 高等学校の入学



学校のタイプ

一般高校 高校のタイプの中で最も多い一般的な高校						
詳細区分	中学校教育の基礎に基づいて、中等教育を実施					
入学選考	平準化地域: 内申で選抜し、抽選・指定 非平準化地域: 内申などで各学校が学生を選抜					
特殊目的高校 特殊分野における専門教育を目的とする高校						
詳細区分	外国語高校 外国語に長けた人材を養成	国際高校 国際的な専門の人材を養成	科学高校 科学の人材を養成	芸術高校 芸術家を養成	体育高校 体育関連の専門家を養成	産業需要カスタマイズ型高校 (マスター高校) 産業界の需要に合わせた教育課程を運営
入学選考	自己主導学習選考 (内申、面接など) により各学校が選抜			内申、面接、実技などにより各学校が選抜		
特性化高校 職業系列特性化高校: 素質や適性、能力が類似した生徒を集め、特定分野の人材養成を目的とする教育 オルタナティブ系列特性化高校: 自然現象に関する実習など、体験中心の教育を専門に行う高校						
詳細区分	職業系列特性化高校 卒業後、就職を希望する生徒を対象に、職業教育を実施			オルタナティブ系列特性化高校 学習者を中心に、オルタナティブ教育プログラムを運営		
入学選考	内申、面接などにより各学校が選抜					
自律高校 学校やカリキュラムを比較的自由に運営できる高校						
詳細区分	自律型私立高校 建学の理念に基づき、学校行事や教育課程を自律的に運営			自律型公立高校 学校やカリキュラムを自由に運営		
入学選考	ソウル地域: 第1段階は抽選、第2段階は面接 ※ ハナ高校は除く その他の地域: 自己主導学習選考(内申の成績、面接など)により、各学校が選抜			平準化地域: 内申で選抜し、抽選・指定 非平準化地域: 内申などで各学校が学生を選抜		

※「高校入試情報ポータル(www.hischool.go.kr)」、「特性化高校・マスター高校(www.hifive.go.kr)」から詳しい情報を確認してください。



入学対象

- ・ 中学校を卒業し、またはそれ同等の学歴が認められる多文化家族の子ども。



選抜及び入学時期

- ・ 各市・道教育庁の「高校入学選考基本計画」により詳しい情報を確認可能 (4月から管轄の市・道教育庁ホームページから確認可能)
- ・ 高等学校は、前期と後期に分けて新入生を選抜
 - 前期** 一般高等学校(芸術・体育系)、特殊目的高等学校(科学/芸術/体育系列及び産業需要カスタマイズ型高校)
 - 後期** 一般高等学校(芸術・体育系以外)、特殊目的高等学校(外国語/国際系列)、自律高校(公立・私立)など前期に属さない学校
- ・ 募集時期、入学選考などは、市・道教育庁により異なるため、確認の上、志願する必要がある。



III

学校教育の支援

1. 学校教育準備の支援



チンゴムダリ
(飛び石)課程
(市・道教育庁)

- 小学校・中学校に入学を予定している多文化家族の児童生徒を対象に、学校生活に早期適応できるよう支援する準備教育プログラム

! 毎年運営校を指定

小学校 生活と学習の領域で教育の内容を構成して運営

中学校 同じ年代の文化に基づくコミュニケーション、体験・活動に基づく学校生活について構成したプログラムを運営

2. カスタマイズされた韓国語教育及び教科学習の支援



韓国語学級及び
移動する
韓国語教育
(市・道教育庁)

- 入国して間もない途中入国、または外国人の児童生徒を対象にした韓国語集中教育のための特別学級を設置・運営し、韓国語学級が運営されていない学校に途中入国、または外国人の児童生徒が編入学した場合は、「移動する韓国語教育」プログラムを提供

幼稚園 韓国語のコミュニケーションが困難な外国人の幼児が多数在園している場合、教育課程と連携した遊び中心の韓国語教育を集中的に支援

小・中等 韓国語・韓国文化について集中的に教育を行うために別途の学級を開設し、カスタマイズされた「韓国語(KSL)教育課程」を運営



大学生
メンタリング
(市・道教育庁、
韓国奨学財団)

- 大学生(メンター)が多文化家族の児童生徒の幼児及び児童生徒(メンティー)の学校生活や学習をサポートするために、教科学習、心理・情緒相談を1:1で支援する活動



補助教材の
開発・普及
(中央多文化
教育センター)

- 多文化家族の児童生徒の学習をサポートするため、教科の主な概念や語彙を分かりやすく説明した教材であり、QRコード、映像コンテンツなど多様なメディアの形で提供

3. 進路教育及び情緒の支援



**バイリンガルの
長所を開発・支援**
(中央多文化
教育センター)

- 多文化家族の児童生徒のバイリンガル学習を奨励するために、電子書籍タイプのバイリンガル教材を開発し、Web、アプリケーションで提供
- 多文化家族の児童生徒のバイリンガル学習を奨励し、自己肯定感を高めるために「全国バイリンガル・スピーチコンテスト」を開催



**進路教育プログラムと
メンタリングを運営**
(市・道教育庁、
遠隔映像進路メンタリング)

- 多文化家族の児童生徒の特性を考慮した児童生徒向け進路教育プログラムを運営

01

[キャリアネット進路相談]
-多文化家族の児童生徒に
カスタマイズされた相談
が可能

02

[キャリアネット進路動画]
-職業探求プログラム
「色々な仕事です」のうち、
多様な分野で働く国内の
多文化家族の児童生徒の
人々を紹介する動画が
多言語(中国語、
ベトナム語)の字幕で提供

03

保護者向け進路ニュース
レター「ドリーム
レター」により多言語
(英語、中国語、
ベトナム語、ロシア語)
バージョンを提供
(parents.go.kr
(保護者Onヌリ)から
利用可能)

- 韓国で活動している帰化した韓国人のうち、専門家など優れた人材をメンターとして選定し、多文化家族の児童生徒だけでなく、すべての児童生徒が参加できるよう「遠隔映像進路メンタリング(mentoring.career.go.kr)」を運営

! 各市・道においてカスタマイズされた進路キャンプを運営しており、当該市・道に個別に確認する必要有り。



**学校生活及び
情緒の支援**
(市・道教育庁)

- 多言語バージョン(10か国語：英語、中国語、日本語、ベトナム語、フィリピン語、ロシア語、モンゴル語、アラブ語、クメール語、タイ語)の「情緒・行動特性検査紙」を提供し、多文化家族の児童生徒向けに、情緒・行動発達プログラムを支援
- 地域社会における多文化家族の児童生徒の児童生徒支援機関と連携し、学校で情緒的支援が必要な児童生徒に対する専門的な支援を強化



IV

教育支援制度

1. 教育費の支援



幼児の学費を支援



幼児の学費



放課後課程の
費用

年齢

満3～5歳

支援額
(ウォン/月)



国公立幼稚園

100,000



私立幼稚園

280,000



国公立幼稚園

50,000



私立幼稚園

70,000

(22年3月1日現在)



支援費は市・道によって異なる場合がありますので、支援費の詳細については、居住地の住民センターでご確認ください。

- 幼稚園に通う満3～5歳のすべての幼児に、所得水準に関係なく幼児の学費を支援。ただし、小学校に就学する直前の3年間のみ支援。
※ 外国国籍の幼児は、支援対象ではない(ただし、「在韓外国人処遇基本法」により法務部長官が認めた「特別寄与者等」は例外)
- 幼児の学費支援資格*を満たし、かつ私立幼稚園に通う法定低所得世帯(基礎生活受給者、次上位階層、ひとり親家庭)の幼児を対象に、月最大15万ウォンの範囲で重複して支援。
* 早期入学、就学猶予など、その他の支援対象を含む
- 保護者の居住地の邑・面・洞住民センターの窓口、またはウェブサイト福祉へ(www.bokjiro.go.kr)から申請可能



低所得世帯の
子ども向け
教育費・
教育給付金を
支援

- 低所得世帯の子どものために、高校の学費、学校給食費などの「教育費」、教育活動支援費などを支援する「教育給付金」制度があり、保護者の住所地の邑・面・洞住民センターの窓口から申請可能



お問い合わせ

保健福祉相談センター 129
 教育費に関する中央相談センター 1544-9654
 邑・面・洞住民センター、学校・教育庁

2. 学校及び生活の支援

ウィー(Wee)クラス
(学校相談室)を運営

- ウィー(Wee)クラスは、学校に設置された相談室であり、学校に適応できなかったり、危機に瀕した児童生徒や相談が必要な児童生徒に、診断・相談・治療の支援を行うワンストップ総合サービスを提供し、家庭や学校生活への適応、社会への円滑な適応を支援するために運営されている。児童生徒が直面する認知・情緒・行動面の問題を正しく理解し、解決することができるようサポート。



※ ウィー(Wee)クラスが設置されていない学校は、ウィー(Wee)センターの巡回相談を行う。
(専門の相談教師が常駐、心理・情緒的困難を感じたとき、ウィー(Wee)クラスでの相談が可能)

多文化家族支援
センター

- 多文化家族支援センターは、多文化家族が韓国社会に適応できるよう、家族での良好な関係を築くための教育(家族、性平等、人権など)、韓国語教育、訪問教育、相談、情報案内、結婚移民者のための通訳・翻訳サービス、子ども言語発達支援サービスなどを提供する機関。全国228か所が設置・運営されている。

移住の背景を持つ青少年
支援財団「ムジゲ(虹)
青少年センター」

- 移住の背景を持つ青少年支援財団「ムジゲ(虹)青少年センター」は、移住の背景を持つ青少年(北朝鮮からの離脱・途中入国・多文化家族の青少年)を支援するための専門機関であり、移住の背景を持つ青少年に韓国社会科の学習能力と自立能力を向上させるために、韓国社会に関する基本情報、韓国語教育、社会的関係向上プログラムなどを提供

ソウルオンドルーム
教育センター

- 特別な教育サービスを必要とする途中入国した子どもの、韓国の生活に適応することの難しさを解消すべく、韓国語、進路、就職教育など、途中入国の子どもが安定して適応できるよう支援するカスタマイズ型教育センター



韓国語教育、韓国社会の理解、特化サービス(帰化対策クラス、就職指導クラス、検定試験クラス、中学・高等クラス、大学入試準備クラスなど)、文化体験、メンタリング、相談サービスなど



タヌリコールセンター

- 韓国に居住する多文化家族・移住女性に、韓国生活に関する情報提供、相談・緊急支援、日常生活に関する通訳、第三者との通話を支援するサービス
- 13か国語対応、移住女性専門の相談員と気軽に母国語で通話し、相談可能

*すべての相談は非公開を原則とし、身元が公開されないように配慮

☎ 1577-1366

支援
内容

- ・緊急避難施設を運営
- ・緊急・暴力被害の相談、緊急支援との連携活動
- ・日常生活に関する情報提供
- ・日常生活に関する通訳、第三者との通話サービス
(大韓弁護士協会と連携した法律相談)



付録1

学校(幼稚園)生活に関する用語

※ 次の用語は、地域・学校(機関)によって異なる用語が使われることがある。



共通用語

用語	主な内容	備考
行政室	教育費、体験活動費など学校(幼稚園)財政の収入・支出の業務を行う場所	
スクールバンキング(CSM)	(School Banking) 保護者が負担しなければならない教育費(現場学習など)を保護者の銀行口座から学校(幼稚園)の口座に自動振り替えを行うシステム	
入学式	学校(幼稚園)に入学する新入生を対象に行う儀式	
保護者	父親、母親など、児童生徒(幼児)を保護する人のこと	
保護者相談	保護者と担任教師が1:1で面談し、児童生徒(幼児)の学校(幼稚園)生活について、知りたいこと、問題を解決するために話し合うこと	
保護者向け公開授業	保護者を学校(幼稚園)に招待し、授業を公開する日	
家庭通信文	学校(幼稚園)から保護者宛に教育活動に関する各種イベントや情報などを知らせる案内状	
休み	学期末と学年末に、学校(幼稚園)の授業を一定期間休むことで、暑いときは夏休み、寒いときは冬休みがある(夏休み、冬休み、学年末の休みなど)	
開学式	学校(幼稚園)において、休みが終わり再び正規の授業を始めるときに行うイベント	
卒業式	児童生徒(幼児)が規定により所定の教育課程を終え、卒業の証書を授与されるイベント	幼稚園を含む
給食	学校(幼稚園)が児童生徒(幼児)に食事を提供すること	
放課後学校	正規授業時間の後に提供される教育活動、学校(幼稚園)から提供される保育活動全体を指す言葉	
放課後学校教師	放課後学校講座を運営し、教える教師	
体験型現場学習	学校(幼稚園)の教育課程運営計画により、学生が実際の現場を訪れて経験し、体験することで学習を行う教育活動(例：学年別体験型現場学習、陶芸体験、農業体験など)	
校外体験学習	個人の計画により学校長から事前に許可を受けた後に行う体験学習。現場見学、文化体験、職業体験など、直接体験が中心となる学習活動(例：文化探訪、委託学習、家族旅行、親戚訪問、孝行体験など)	
運動会	学校(幼稚園)の児童生徒(幼児)が一堂に会し、様々なスポーツ競技を行う活動	
開校(開園)記念日	各学校(幼稚園)が毎年、開校した月日に合わせ、開校を記念する日	
裁量による休業日	学校(幼稚園)が自主的に休業日を指定し、児童生徒が登校せず、一日または一定期間休む日	



用語	主な内容	備考
保護者総会	保護者が集まり、学校の各教育活動について紹介を受け、学校の運営について話し合う会(教育課程説明会)	
教員能力開発評価 (保護者満足度調査)	学校(幼稚園)の教師、教頭(副園長)、校長(園長)についての満足度をオンラインで調査すること	
学校(幼稚園) 運営委員会	学校(幼稚園)の教員代表及び保護者代表で構成された組織。主な教育活動について審議・諮問を行う。	
週間	月曜日から日曜日までの1週間	
学期	一学年を学業の必要に応じて区切った期間。普通、3～8月と9～2月の二つの学期に別れる。	
転校	現在通っている学校から別の学校に移り、学ぶこと。	
学校(幼稚園) 生活記録簿	児童生徒(幼児)の学校(幼稚園)生活の様子や身体・知識・正義・社会面での発達状況を連続して記録した文書	幼稚園を含む
出席認定の欠席	家族の結婚、死亡、法定感染症、家族同伴の体験学習などにより欠席する場合、出席として認める。	
週刊学習案内状	一週間の時間割、準備物、学級イベント、担任教師からの伝達事項などが書かれた案内状	
個人情報活用同意書	児童生徒(幼児)の個人情報が学校(幼稚園)の教育活動に活用されることについて、保護者から同意を受けるための文書	
身体発達検査	児童生徒の身長、体重などを測定し、身体の発達と健康状況を確認するための検査	
学芸会	学校(幼稚園)で展示会、発表会、コンテストなどを行う教育イベント	
終業式	学校(幼稚園)で一年間の学業を終えるときに行うイベント	
教科	学校で教える科目	
教科書	各科目を学ぶために作られた教材	
遂行評価	生徒の知識、技能、態度などの習得を確認するために、生徒が直接作った成果や生徒の遂行過程を様々な方法(論述、討議・討論、実験・実習、観察、自己評価・同僚からの評価など)により評価する方法	幼稚園は除く
クリエイティブな 体験活動	自主的な活動、サークル活動、奉仕活動、進路活動の4つの領域で構成される、教科以外の活動	
自己主導学習	学習者が学習への参加の決定、学習目標の設定、学習プログラムの選定、学習結果の評価など、学習の全過程を本人の意思によって選択・決定し、行う学習形態	
委員会・生徒会	児童生徒全体を代表する学生が集まって、学校生活に関する意見を集めて話し合い、決定・実行する自治機構	
奉仕活動	児童生徒個人または学校団体が自主的に社会または公共の利益のために奉仕すること	



付録1

学校(幼稚園)生活に関する用語

用語	主な内容	備考
お知らせ帳	児童生徒が担任教師から聞いた学校・学級の伝達事項をノートに書いて家庭に知らせるもの	
学級委員選挙	各学級において投票により学級の代表(会長、副会長)を選ぶこと	
修学旅行	自然と文化に直接触れる体験学習の経験を提供するために、担任教師と一緒にを行う宿泊旅行	
日直	クラスの構成員が順番に学級の為に奉仕すること	幼稚園は除く
学級会議	学校で決められた正規の時間に、クラスの構成員で行う会議	
図書貸出証	校内図書館から本を借りるときに使う貸出証	
学校担当警察官	校内暴力を予防するために、児童生徒や保護者を対象に予防教育を行い、校内暴力の根絶と予防のための業務を担当する各学校の担当警察	



幼稚園生活

用語	主な内容
幼児	幼稚園に通う満3歳から小学校就学前(普通、満5歳)までの児童
登園	園児が幼稚園に行き教育を受けること
降園	園児が幼稚園での教育活動を終え、家に帰ること
遊び	園児の興味と関心のあるものを中心に、幼稚園の室内外で自由に行う活動
朝、夕方、終日保育	放課後課程のうち、朝、夕方の時間まで子どもを預けなければならない共働き家庭やひとり親家庭などを対象に行う保育活動を指す言葉(幼稚園によって時間が異なる場合がある。)
園長	幼稚園を運営する上で、幼稚園全体を総括する責任者
副園長	幼稚園を運営する上で、園長を補佐し、業務を行う中間管理職
修了式	幼稚園において、一年間の学業を終えるときに行うイベント
幼稚園の費用	幼児教育のために使われる授業料等の教育費とその他の納付金
幼児募集	願書の受付、抽選、登録など、幼児が幼稚園に入学するために必要な過程
オリエンテーション	(Orientation)新入生の保護者を対象に、幼稚園の教育課程、イベントなどについて案内すること
幼児向け健康診断	生後4か月から60か月までの乳幼児を対象に、体の健康状態を検査する医学的検査
特性化プログラム	受講者側が経費を負担し、放課後課程として外部講師により行われるプログラム



小学校生活

用語	主な内容
生活通知表	児童の学校生活に関する全般的な事項(出欠事項、教科学習の発達事項など)を記録した文書で、学期末に配付
健康診断	1・4年生を対象に、学校指定の病院で病気の有無を確認し、予防するための身体検査
歯科健診	2・3・5・6年生を対象に、学校指定の歯科で歯の状態をチェックし、予防するための検査
全校子ども役員選挙	学校全体の児童が投票で学校を代表する児童(全校会長、全校副会長)を選ぶこと
キャンプ・修練活動	山や海などの自然の中で、人格と心身を鍛錬する野外活動



中学・高校生活

用語	主な内容
内申	学校生活における総合成績(学校における試験の成績、遂行評価、紙筆評価など)
実技	美術、音楽、体育などの芸術・体育教科の試験。各テーマに合わせた絵描き、楽器演奏、幅跳びや競走などの試験を行う。
英語のリスニングテスト	全国17の市・道教育庁が共同で主管する、英語のリスニングテストで、毎年2回行われる。英語科の遂行評価に反映されることもある。
中間テスト	学期の中間に実施される学校の試験
期末テスト	学期の最期に実施される学校の試験
模擬試験	学校の内申の成績には反映されないが、大学修学能力試験に備えて前もって受ける試験
定時	大学修学能力試験の成績で評価する大学入試選考
随時	高校の内申、学校生活全般などを中心に評価する大学入試選考
サークル (C.A)	(C.A.: Club Activity) 学校で定められた正規の時間に、共通の趣味、関心事を持つ学生同士で集まって行う活動
自由サークル	学校で定められた正規の時間以外に、共通の趣味、関心事を持つ学生同士が自律的に集まって行う活動
移動授業	自分の教室ではなく、特別教室(美術室、英語室、科学室など)に移動して受ける授業
自由学期制度	中学校の生徒を対象に1学期もしくは2学期間、中間・期末テストを受けない代わりに、討論・実習授業や職業体験活動などの進路教育を受ける制度
校内暴力	学校の内外で、生徒を対象に発生した傷害、暴行、監禁、脅迫、掠取・誘引、名誉毀損・侮辱、恐喝、強要・強制的なパシリ、性暴力、いじめ、サイバーいじめ、情報通信網を利用した淫乱・暴力情報などにより身体・精神、又は財産上の被害をもたらす行為



付録2

「韓国の教育制度と進学情報」保護者用映像資料



「韓国の教育制度と進学情報」の映像は、未就学児または小学生、中学生の子どもを持つ多文化家族の保護者が、学校情報について理解しやすくするために、計6回(1回につき約20分)で制作されたもの



韓国の教育制度や小学校入学から卒業まで、学校生活の情報を案内しており、
多文化教育ポータル edu4mc.or.kr
プライムカレッジ生涯教育ハブ課程 hub.knou.ac.kr
多文化家族支援ポータル・タヌリ liveinkorea.kr
 のウェブサイトから視聴可能



音声は韓国語で録音されており、5か国語(ロシア語、ベトナム語、英語、日本語、中国語)の字幕から選択可能



小学校

主なキーワード

01	韓国の学校について知っておきましょう	保育園、幼稚園、小中高、大学の教育機関、義務教育
02	小学校の入学準備について知っておきましょう	就学通知書、入学日前招集日、学童保育、放課後学校、家庭通信文
03	小学校の普段の生活と年間行事について知っておきましょう	主なイベント、授業科目、授業時間、給食、体験型現場学習、夏休み、運動会、短期休み
04	小学校の生活指導について知っておきましょう	生活指導、必要な学用品、お知らせ帳、安全な登下校、事故防止
05	子どもの宿題指導、学習指導について知っておきましょう	学習指導、宿題のタイプ、書き取り、日記、読書、遂行評価
06	小学校を卒業した後は、どうなりますか？(子どもの進路・進学情報)	小学校卒業後の課程、適性、進学、進路、職業、資格、資格取得情報



中学校

01	韓国の中学校について知っておきましょう	02	中学校での日課と1年間の課程について知っておきましょう
03	思春期の子どもの生活指導について知っておきましょう	04	子どもの学習指導について知っておきましょう
05	自由学期制度ってどんなものですか？	06	我が子、高等学校へ行く



付録3

無料の韓国語学習支援サイト



www.ebs.co.kr/durian

EBSドゥリアン

- 韓国語と韓国文化が学べる韓国語教育プログラムおよび移住家庭が活用できるEBS多文化コンテンツを提供
- 4か国語サービス(韓国語、英語、ベトナム語、中国語)



www.nlcy.go.kr/NLCY/contents/C10503010000.do

国立子ども青少年図書館・多文化絵本の読み聞かせ

- 韓国の昔話と創作童話をFLASHアニメーションで紹介
- 9か国語の多言語サービス(韓国語、英語、モンゴル語、ベトナム語、中国語、タイ語、タガログ語、ロシア語、カンボジア語)



www.sejonghakdang.org

ヌリ-世宗学堂

- 韓国語と韓国文化を学習するために、様々な教材や資料を提供
- 8か国語の多言語サービス(韓国語、英語、ベトナム語、中国語、日本語、タイ語、スペイン語、フランス語)



두루책방.com

ドゥルチェッパン

- 単語からなる短文の本から、計6段階まで、文章のレベルを分けて読書できる本を提供
- 多言語タブから5か国語の多言語サービス(韓国語、英語、中国語、ベトナム語、タイ語)



www.koreanedu-as.kr

安山教育庁韓国語学習用コンテンツ

- 韓国語のレベルに応じて初級、中級、上級の3段階に分けて学習し、評価を受けることができる。
- 16か国語の多言語サービス(英語、中国語、ベトナム語、バングラデシュ(ベンガル)語、カンボジア語、インドネシア語、日本語、モンゴル語、ミャンマー語、ネパール語、台湾語、ロシア語、スペイン語、スリランカ語、タイ語、タガログ語)



youtube - 더빙스쿨TV 検索

ダビングスクールTV

- 韓国語、ロシア語、モンゴル語で1年生、2年生の国語・数学教科書を紹介
- 1つの動画は約15分の長さで、学校で学んだ内容を復習することができる



study.korean.net

在外同胞財団スタディコリアン

- 在外同胞を対象に韓国語の学習を支援するサイト。在外同胞でなくても、韓国語学習に役立つ。
- ログインしなくても韓国文化関連資料が視聴できる。
- 韓国語を学びたい場合は、ログインして受講申請の必要がある。



ollybolly.org

オリボリ絵本

- 様々な国の絵本を紹介するサイト(韓国、レバノン、ルワンダ、モンゴル、ベトナム、ウズベキスタン、イラン、インドネシア、中国、カンボジア、タイ、チベット、パレスチナ、フィリピン)
- それぞれの絵本は、その国の言語と韓国語、英語のサポートがある。
- 絵本をテーマ別、または国別に集めて見ることができる。



PM2022-60

多文化家族の保護者向け 入学手続きのご案内

学校に 行く前に

発行日	2022年 9月
発行者	カン・デジュン 院長
発行元	国家生涯教育振興院
監修チーム	キム・クイヒョン(忠清北道教育庁) ナ・エラン(光州広域市教育庁) アン・ソヨン(ヨウルヌリ幼稚園)
研究協力官	ユン・イジ (教育部) 、チュ・ヨンジュ(中央多文化教育センター)
住所	ソウル特別市中区清溪川路14国家生涯教育振興院9階 (〒)04520
電話番号	02-3780-9834
FAX	02-3780-9939
ウェブサイト	国家生涯教育振興院(www.nile.or.kr) 中央多文化教育センター(www.edu4mc.or.kr)
デザイン・翻訳	DoubleKnew Company

※ 本資料の著作権は教育部と国家生涯教育振興院、委託主管機関である17市・道教育庁が保有します。

※ 本資料の一部、または全ての内容の無断で引用、抜粋、あるいは複製を禁じます。